

○四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 会長コメント

本日、四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業の令和3年度予算での新規事業化が国土交通省から公表されたことについて、中部圏のものづくり産業を物流面から支える四日市港に対する高い評価と大きな期待の表れであると、地元経済界・産業界として大変嬉しく思っております。

今回の事業化により、コンテナ船を中心に航路サービスの充実や、南海トラフ地震などの災害対応力向上、貨物取扱機能の強化が図られ、当地域産業の発展に大いに貢献すると期待しています。

今日に至るまで多大なるご尽力を頂きました国会議員の先生方、国土交通省をはじめ港湾関係者の方々、並びに当会会員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

当会といたしましては、霞ヶ浦地区国際物流ターミナルが一日も早く完成するよう、関係者との連携を一層緊密にし、引き続き官民一体となって積極的な活動に取り組んでまいります。

令和3年3月30日

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 会長 種橋 潤治